

# 下野市立南河内小中学校の教育

令和4年4月開校



## 教育理念

「ふるさとを愛し 歴史の上に未来を拓き

夢に羽ばたく子どもを育てます」

## 学校教育目標

ふるさとを愛し 夢に向かって高め合える子を育む

・すすんで学ぼう ・心をみがこう ・体をきたえよう

## 南河内小中学校校歌

松田 武夫 作詞  
古賀 政男 作曲

一

見はるかす 見はるかす  
筑波嶺は 太陽に輝きて  
鬼怒の流れば 邑を潤す  
平和の里に 雄々しく育ちて  
ああ 永遠に 南河内わが母校

二

白鳳の 白鳳の  
下野の文化の都  
この地に建てし 先祖に勝り  
秀れし技と 知識を研きて  
ああ 永遠に 南河内わが母校

三

仰ぎみる 仰ぎみる  
学び舎は 夕日に映えて  
男体み山 紫におう  
夕顔の花 手に手にかざして  
ああ 永遠に 南河内わが母校

※(令和4年 開校時に歌詞を一部改編)



## 1. 9年間で目指す児童生徒像

南河内小中学校は、1年生から9年生までが1つの校舎で9年間を過ごします。児童生徒の発達の段階を踏まえ、育ちと学びを最大限に伸ばす教育活動を進めます。

自ら学んで互いに高め合える子 心豊かで助け合える子  
体をきたえやりぬく子

### 目指す児童生徒像と到達目標

1年 2年 3年 4年 ←学びの基礎をつくる→	5年 6年 7年 ←学びを広げる→	8年 9年 ←学びを深める→
<p><b>○進んでなかよく勉強する子</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習のきまりを身に付ける。</li> <li>2 学習習慣を身に付ける。</li> </ol> <p><b>○友達にやさしくできる子</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活のきまりを身に付ける。</li> <li>2 友だちとなかよくする。</li> </ol> <p><b>○元気に楽しく運動する子</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 外で元気に遊んだり運動したりする。</li> <li>2 健康で安全な生活をする。</li> </ol>	<p><b>○自ら考え学び合える子</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自ら考え、ともに学び合う。</li> <li>2 自主学習の習慣を身に付ける。</li> </ol> <p><b>○心やさしく助け合う子</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自他の良さに気づき、認め合う。</li> <li>2 みんなのために協力する。</li> </ol> <p><b>○健康で元気な子</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ねばり強く体力づくりをする。</li> <li>2 自他の健康や安全を考え生活する。</li> </ol>	<p><b>○自ら学んで互いに高め合える子</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学んだ力を発揮し、学びを深める。</li> <li>2 主体的に課題を解決する。</li> </ol> <p><b>○心豊かで助け合える子</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己実現に向かって努力する。</li> <li>2 よりよい人間関係を築く。</li> </ol> <p><b>○体をきたえやりぬく子</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 心身の健康を保持増進しようとする。</li> <li>2 自分の生き方を真剣に考え、生活を向上させる。</li> </ol>



## 2. 学びと育ちをつなぐ教育活動

教職員全員で子どもたちの成長を見守り、子どもたち一人一人の学びと育ちをつなぎます。また、9年間を見通した特色ある教育活動を展開していきます。



### 学びのステージ

学びの基礎をつくる				学びを広げる			学びを深める	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
学級担任制（一部教科担任制）						教科担任制		
北校舎（新設校舎）					南校舎			
前期課程（小学校） 1～6年						後期課程（中学校） 7～9年		

## コミュニケーション能力を育てる教育活動

### 言語活動の充実

各教科で重視する言語活動を定め、コミュニケーション能力の育成を目指します。

### 異年齢交流

異年齢集団での活動を通して、積極的にコミュニケーションを取ったり、リーダーシップを発揮したりできる力を育みます。

### ノー原稿発表

発達段階に応じて、原稿を見ずに自分の意見や考えをみんなの前で発表する活動を行います。

## 学校課題 主体的に表現し、伝え合う児童生徒の育成

## 英語教育の充実

9年間系統した指導計画のもと、指導と評価を一体化した英語指導を推進し、英語でコミュニケーションを図ることができる児童生徒を育てます。



取組内容	1年生からの英語活動	1年生から英語活動を実施し、興味関心を高める授業を展開。
	系統的な指導計画	全学年を通して学習到達目標を設定し、系統的な指導を実施。
	ALTの配置、乗り入れ授業等	ALT2名配置。ALTや教員等の交流や乗り入れ授業等を実施。
	しもつけ未来学習 (英語科の時間で実施)	ふるさと学習との関連を図りながら、英語で自分の考えや思いを発信する力を育成。
	7年生の校外学習	7年生は校外学習として英語を使った体験学習に参加。

## ふるさと学習の充実

3年生～9年生の総合的な学習の時間では、学年の区切りを生かしたステージ「知る→広げる→深める」のもと、体験的な学習を通して、一人一人が地域や社会との関わりを実感しながら、探究的な学びを進めます。

学年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
ステージ	知る 地域を知る(地域の自慢)		広げる 住みよいまちづくり			深める 社会に役立つ	
テーマ	自然・特産物	福祉	環境・防災	歴史	食・地域貢献	職業・キャリア	国際社会
プロジェクト	ふるさと発見	ともに生きる あたたかい町づくり	防災名人になろう	地域の絆再生 プロジェクト	かんびょう(食) プロジェクト	働く人々の思いを 知る	私の ○○プロジェクト

## メディアセンターの活用

読書センター、学習センター、情報センターの機能を備えたメディアセンターでは、豊かな心を育む読書活動や、目的に応じた多様な調べ学習、探究学習が可能です。2F 図書館と3F 情報センターが一体となり、学年間の交流の拠点としての役割も果たすことができます。

**蔵書**・・・約12,000冊の蔵書があり、自分の読みたい本などを自由に閲覧することができます。  
**情報機器**・・・パソコン、タブレット、大型提示装置等を配備し、多様な学びを実現します。





### 3. 温かい人間関係を育む異年齢交流



9年間、同じ校舎で過ごす環境を生かして、さまざまな異年齢交流や学校行事を実施し、温かな人間関係を育みます。

#### 異年齢編成による活動

特別活動を中心とした 各種活動	時 期	○参加学年 ◎リーダー学年									
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
全校集会	通 年	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	
委員会活動	通 年					○	○	○	○	◎	
クラブ活動	通 年				○	○	◎				
共遊の時間	通 年	○	○	○	○	○	◎				
清掃活動	通 年	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	
児童生徒総会	年 1回					○	○	○	○	◎	
部活動壮行会	6～7月							○	◎	○	
体育祭	5月	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	
文化祭(夕顔祭)	10月							○	○	◎	
学習発表会	12月	○	○	○	○	○	◎				
卒業を祝う会	2月					○	○	○	◎	○	
1年生を迎える会	4月	○	○				◎				



### 4. 小中をつなぐ体制づくり



#### 指導体制

9年間の子どもたちの成長を、地域や保護者の方々とともに、全教職員で温かく見守ります。

・前期課程、後期課程の教職員が同じ職員室で過ごすことで、日々の情報交換を密におこなうことができます。一人一人の子どもの成長をきめ細やかに見守り、段差のない指導や支援に努めます。  
 <安心感のある学校生活>

・前期課程から一部教科担任制を段階的に取り入れることで、後期課程の教科担任制へゆるやかにつなぎます。また、教職員の交流や乗り入れ授業を行うことで、全校体制で学びの充実に努めます。  
 <学びの充実>

・リーダー学年を中心とした様々な教育活動を通して、子どもたちの自主性を育みます。また、ノーチャイムで学校生活を送ることで、自分で判断し行動できる子を育みます。  
 <自主性を育む教育活動>



・地域の方々とのつながりを大切にしたい体験学習や地域貢献活動などを充実させるとともに、パワーアップ・アクションプランをもとに、地域や保護者の方々を目指す子どもの姿を共有しながら教育活動を進めます。  
 <地域とともにある学校>

※パワーアップ・アクションプラン・・・家庭や地域の方と学校教育の目指す方向性を共有していくためのプランです。



## 5. パワーアップ・アクションプラン



9年間で目指す子ども像

1・2・3・4年	5・6・7年	8・9年
学びの基礎をつくる時期	学びを広げる時期	学びを深める時期
○ 進んでなかよく勉強する子	○ 自ら考え学び合える子	○ 自ら学んで互いに高め合える子
○ 友だちにやさしくできる子	○ 心やさしく助け合える子	○ 心豊かで助け合える子
○ 元気に楽しく運動する子	○ 健康で元気な子	○ 体をきたえやりぬく子

目指す子ども像に向かって、みんなでアクションを起こしましょう。

	子どもたちのアクション	家庭のアクション	地域のアクション
すすんで学ぼう	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 話をよく聞き、分からないことがあったら質問する。</li> <li>2 読書の習慣を身に付ける。 (中学生は、幅広い読書を心掛ける。)</li> <li>3 宿題を忘れずにやり、時間のけじめを付けて家庭学習をする。 (小学生は学年×10+10分) (中学生は1~2時間)</li> <li>4 地域の行事に積極的に参加する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもたちの学習内容に関心を持ち、声を掛ける。</li> <li>2 家読で親子で本を読む習慣を付ける。</li> <li>3 子どもが家庭学習に集中できるような環境(時間・場所)を作る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習に関わる地域の人材や教材、環境作りに協力する。</li> <li>2 読み聞かせなどのボランティアに協力する。</li> <li>3 放課後や長期休業中に子どもが学べる環境作りや支援ボランティアなどに協力する。</li> <li>4 地域行事に参加しやすい雰囲気を作る。</li> </ol>
心をみがこう	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校であったことを家で話す。</li> <li>2 友だちのよい所を認めたり、思いやりのある声を掛けたりする。</li> <li>3 自分から進んで「ありがとう」を言う。</li> <li>4 家のお手伝いをする。</li> <li>5 自分のことは自分でやる。</li> <li>6 学校での自分の役割を責任を持ってやり遂げる。</li> <li>7 積極的に地域貢献活動を行う。 (中学生)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会話を大切にする。</li> <li>2 大人が率先して子どもに感謝の気持ちを伝える。</li> <li>3 毎日できるお手伝いを決め、継続させる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもに地域の良さを話す。</li> <li>2 子どもの体験を深める活動に協力し、子どもを褒める場を作る。</li> <li>3 地域貢献活動に協力し、ねぎらいの言葉を掛ける。</li> </ol>
体をきたえよう	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本的な生活習慣を身に付ける。 (明るいあいさつ、さわやかな返事、ていねいな言葉遣い、靴をそろえる、時間を守る)</li> <li>2 正しい姿勢を身に付ける。</li> <li>3 十分な睡眠時間を確保し、毎日3回食事をとる。 (小学生は最低でも8時間。) (中学生は最低でも7時間。)</li> <li>4 ゲームや携帯、スマホ等の利用ルールを決める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大人が率先して子どもにあいさつをする。</li> <li>2 靴をそろえる習慣を付ける。</li> <li>3 早寝、早起き、朝ご飯など、子どもが規則正しい生活ができるようにする。</li> <li>4 子どもの食べ物の好き嫌いをなくすようにする。</li> <li>5 ゲームや携帯、スマホなどの利用ルールを決める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 笑顔で心がけ、大人から先に「おはよう」「こんにちは」「さようなら」の声掛けをする。</li> <li>2 登下校の見守りボランティアに協力する。</li> <li>3 子どもの体力作りを推進する活動に協力する。</li> </ol>

※学校教育の目指す方向性を家庭や地域の方々と共有するとともに、子ども、家庭、地域それぞれの立場でできることを具体的に示しています。子どもの望ましい成長を期待するあたたかい家族、次世代を担う人づくりを目指す地域の支援を力にして、地域とともにある学校づくりをすすめます。



## 6. 開校までのあゆみ



2016(平成28)年度

下野市学校適正配置基本計画に示された南河内中学校区における小中一貫教育を推進するため、3つの方針を決定する。

- 1 南河内中学校区に義務教育学校を導入する
- 2 義務教育学校は施設一体型とする
- 3 施設は現南河内中学校の敷地内に設置する

2017(平成29)年度

- ・義務教育学校基本構想を策定する。
- ・学校教育理念を「ふるさとを愛し 歴史の上に未来を拓き 夢に羽ばたく子どもを育てます」とし、異年齢交流活動、ふるさと学習、英語教育、ICT・プログラミング教育の4つを柱として、学校づくりを進める方向性を示す。

2018(平成30)年度

- ・「義務教育学校整備基本計画」を策定し、総合的な施設等の設備方針を定める。
- ・南河内中学校と新設の校舎をつなぐ一体型校舎の基本設計完了。
- ・市の小中一貫教育ハンドブック(試行版)を発行し、市全体での小中一貫教育を進める。

2019(平成31・令和元)年度

- ・新校舎実施設計完了。
- ・南河内中学校区義務教育学校設立準備組織を設置し、南河内中学校区小中一貫教育推進協議会、南河内中学校区義務教育学校区設立準備委員会及び各種作業部会を組織する。
- ・地域アンケート等の結果をもとに校名を「下野市立南河内小中学校」とすることに決定する。
- ・小中一貫の日を中心に、教職員による作業部会開始。市全体での小中一貫教育を本格実施。

2020(令和2)年度

- ・新校舎建設着工。
- ・各種作業部会(総務部会、スクールバス運行管理部会、学校経営部会、事務部会、コミュニケーション能力向上部会、児童・生徒指導部会、健康・安全・地域連携部会等)を進める。
- ・在校生のアンケート結果をもとに校章を制定。南河内中学校の歌詞を一部改編することで、校歌を制定。

2021(令和3)年度

- ・「義務教育学校整備基本計画」の実現に向けて、特色ある教育活動を含めた教育課程の整備、スクールバス運行に関する検討、学校施設増築整備等を進める。
- ・新校舎建設完了。
- ・薬師寺小学校、吉田東小学校、吉田西小学校、南河内中学校を閉校する。

令和4年4月 下野市立南河内小中学校開校